

第1回 既卒生激励会

「頑張れ！ 舟入高校既卒生」

3月29日(火)に「第1回既卒生激励会」を行いました。今春卒業した3年生が出席しました。学校長からの激励や、今年大学合格を果たした昨年の卒業生の体験談やアドバイスに耳を傾け、1年後の「捲土重来」を誓いました。

- ① 学校長激励のことは
- ② 進路指導主事からの話
- ③ 昨年度卒業生の話(6名)
- ④ 旧3学年主任の話
- ⑤ 旧担任との面談



「夢」の実現に向かって

進路指導部

1. 入試の結果をいつまでも引きずらない！
2. 失敗の原因を冷静に分析せよ！
3. 自分を甘やかすな！
4. 目標なくして合格なし！
5. 家での過ごし方はよく考えろ！
6. 苦手科目・分野はプライドを捨てて基本に戻れ！
7. 友人とはうまく付き合え！
8. 残り10か月で自分の将来が決まる！
9. 序盤は浪人有利だが終盤の現役は手強い！
10. くじけそうになったら舟入高校に！！

<先輩方からのアドバイス>

1. Aさん (九州大学 工学部 合格)

- 受験させてもらっていることを親に感謝する。この1年間を与えられているのは当たり前ではない。
- この1年間で納得した結果を得られるように努力する。

2. Bさん (早稲田大学 国際教養学部 合格)

- 目的を明確にして(書き出して)、意識しながら過ごす。
- 現役時代は新しい問題ばかりやっていたが、復習が大切だと気づいた。予備校の授業→当日中に復習→数日後に解き直しをした。

3. Cさん (神戸大学 医学部 合格)

- まずは現役時代にダメだった点を書きだした。現役時代は一匹狼だったが、浪人時にはプロを頼ることを大切にした。
- 基礎を大切にした。春休みは苦手教科に取り組んだ。
- 単調な生活の中で、己をつらぬく工夫をする。

4. Dさん（京都大学 理学部 合格）

- 現役時代の失敗は、志望校に思い入れが無かったこと。
- とにかく基礎が大切。基礎が一番難しいが、それができれば応用は簡単。
- 予備校に行って、人と話すことでメンタルの安定に繋がった。

5. Eさん（九州大学 工学部 合格）

- 浪人のメリットは、予備校で友達ができること、浪人を乗り越えて自信がついたこと、行きたい大学に行けたことなどがある。
- 予備校にはふらふらしている人もいるので、友達は見極めなければならない。志望大学に現役合格した友人に連絡を取ってアドバイスをもらっていた。
- 自分に合った勉強時間を考える。

6. Fさん（京都大学 農学部 合格）

- A4用紙4枚分に高校3年間でしたこと、失敗などを書きだす。
- 4、5月にできるだけはやく目標を決める。周りを使ってアドバイスをもらう。
- メンタルコントロールのために分析を習慣化させる。上手くいってもいなくても、とにかく自己分析をする。
- 体調をベストにする方法を考えておく。



先輩方の話で共通していた部分がありました。

- ①これまでの取組みを振り返り、自己分析すること。
- ②分かっているつもりのことでも始めは基礎から徹底的に復習すること。
- ③生活リズムを整えたり、息抜きの方法を工夫し、自己管理をすること。
- ④浪人させてもらっていることに感謝すること。

既卒生、頑張ってください！
応援しています。

卒業生の皆さんは熱心に聞いていました。これからの1年間を有意義に過ごし、来春の合格を手にするための有益なアドバイスをもらうことが出来たと思います。
先輩のみなさん、ありがとうございました。

